

■使用評価マニュアル：北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト：CASBEE北九州_2014(v2.0)

1 建物概要

建物名称	戸畠管理センター 建設	BEE	1	BEEランク	B+	★★★
------	-------------	-----	---	--------	----	-----

2 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.1 /5		ふつう
2 地球温暖化対策の推進	2.5 /5		がんばろう
3 豊かな自然環境の確保	1.6 /5		がんばろう
4 高齢社会への対応	4.0 /5		よい
※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上
		がんばろう 3 点未満	がんばろう 3 点未満

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル: CASBEE-建築(新築) 2016年版

使用CASBEE評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v.2.1)

1 循環型社会への貢献		スコア平均 3.1
リサイクルに関する配慮	長寿命化に関する配慮	
LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア 3.2	スコア 3
Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数		スコア 3.1
Q2/ 3 対応性・更新性		
<自由記述>		<自由記述>
2 地球温暖化対策の推進		スコア平均 2.6
省エネ・省資源に関する配慮	節水に関する配慮	
LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア 4.1	スコア 1
LR2/ 1.1 節水		
<自由記述>		<自由記述>
3 豊かな自然環境の確保		スコア平均 1.7
生態系保全に関する配慮	緑化に関する配慮	
Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 1	スコア 2
Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上		スコア 2
LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善		
<自由記述>		<自由記述>
4 高齢社会への対応		スコア平均 4.0
バリアフリーに関する配慮		主な指標
Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア 4	建物の外皮性能 (BPI評価) 非住宅: BPI値、住宅: 省エネ等級 0.68
<自由記述>		建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価) 非住宅: BEIm値、住宅: 一 0.61
		外構緑化指數 42.4 %
		建物緑化指數 0 %



: 入力欄

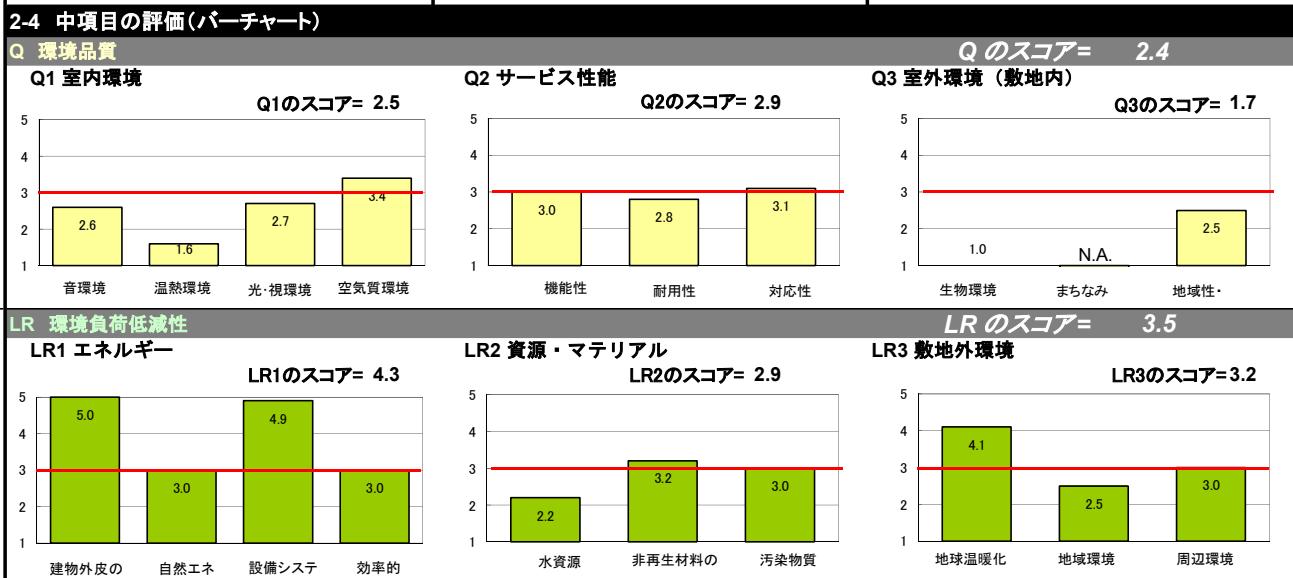
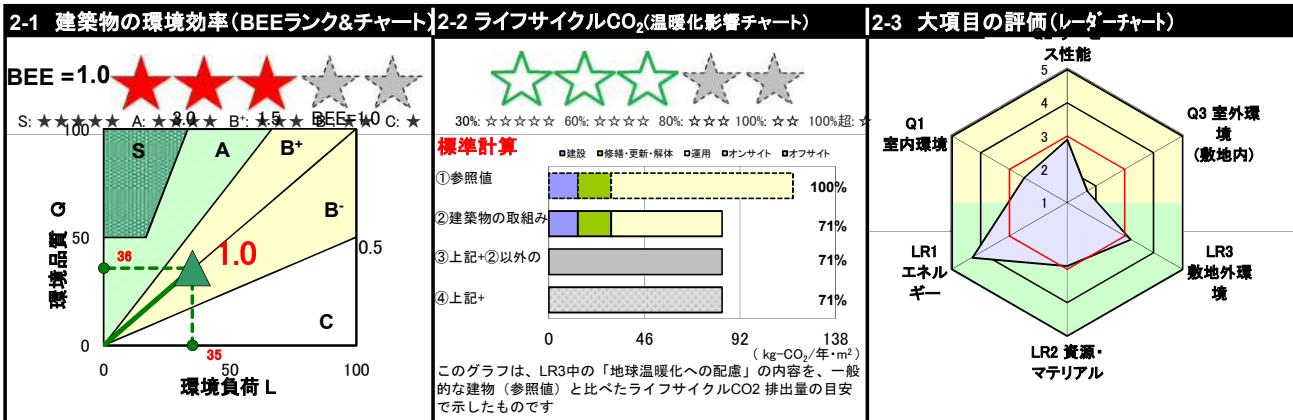


: CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	戸畠管理センター建設	階数	地上2F
建設地	福岡県北九州市戸畠区大字戸畠464-21	構造	S造
用途地域	法22条地域、景観形成誘導地区	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,200時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2018年4月13日
敷地面積	6,449.401 m ²	作成者	江藤 均
建築面積	1,168 m ²	確認日	2018年4月18日
延床面積	2,264 m ²	確認者	大成 幸一郎



3 設計上の配慮事項		その他
総合 比較的大人数が勤務する事務所であるが、シンプルな建築計画と設備計画により省エネに配慮した		特になし
Q1 室内環境 自然採光を積極的に取り入れ、自然換気も十分にとることに配慮した	Q2 サービス性能 大部屋方式の採用による、ゆとりある空間と、清掃性に配慮した仕上げ材の採用等に配慮した	Q3 室外環境(敷地内) 工場用地の中、執務環境として適切な配置と外部の環境からの積極的な分離を意識した
LR1 エネルギー 空調及び照明を省エネルギー機器を採用した	LR2 資源・マテリアル 鉄骨造の採用と内外装仕上げを乾式工法の採用により、リサイクルに配慮している	LR3 敷地外環境 ランニングが最少となるような個別空調器を採用した。敷地が広大であるが、敷地がはもちろん、敷地周辺環境への配慮も行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版 戸畠管理センター 建設		■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)						
スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目								
Q 建築物の環境品質								2.4
Q1 室内環境					0.40		-	2.5
1 音環境				2.6	0.15		-	2.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-	
1.2 遮音				3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能				3.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	0.20		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	0.20		-	
1.3 吸音				1.0	0.20		-	
2 溫熱環境				1.6	0.35		-	1.6
2.1 室温制御				2.2	0.50		-	
1 室温				3.0	0.38		-	
2 外皮性能				3.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性				1.0	0.38		-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-	
2.3 空調方式				1.0	0.30		-	
3 光・視環境				2.7	0.25		-	2.7
3.1 昼光利用				1.8	0.30		-	
1 昼光率				1.0	0.60		-	
2 方位別開口				-	0.20		-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-	
1 昼光制御				3.0	1.00		-	
3.3 照度	デスクワーク主体の事務所であり、設計照度700ルックスとした			4.0	0.15		-	
3.4 照明制御				3.0	0.25		-	
4 空気質環境				3.4	0.25		-	3.4
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質				4.0	1.00		-	
4.2 換気				3.3	0.30		-	
1 換気量				3.0	0.33		-	
2 自然換気性能				4.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-	
4.3 運用管理				2.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50		-	
2 喫煙の制御				3.0	0.50		-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.9
1 機能性				3.0	0.40		-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ				2.6	0.40		-	
1 広さ・収納性				1.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画				4.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30		-	
1 広さ感・景観				4.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33		-	
3 内装計画				3.0	0.33		-	
1.3 維持管理				3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				4.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30		-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-	
1 軸体材料の耐用年数				3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				2.2	0.20		-	
1 空調・換気設備				1.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備				1.0	0.20		-	
3 電気設備				3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり	壁長さ比0.128を確保	3.1	0.30		-	3.1
	1 階高のゆとり		3.4	0.30		-	
	2 空間の形状・自由さ		3.0	0.60		-	
	3.2 荷重のゆとり		4.0	0.40		-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.30		-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.40		-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.20		-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.10		-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
	Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30		-	1.7
	1 生物環境の保全と創出		1.0	0.50		-	1.0
	2 まちなみ・景観への配慮		-	-		-	-
	3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.50		-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	屋根面、外壁面に断熱を考慮		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI]/[BEIm] = 0.61		4.9	0.50	-	-	4.9
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雜排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 車体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
2.4 車体材料以外におけるリサイクル材の使用	鉄鋼スラグ混入路盤材		3.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	鉄骨造を採用し、内外装材は基本的に乾式工法を採用		4.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮	断熱材を効果的に採用		4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 污水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	敷地全体として、駐車場確保、交通渋滞の回避に努力している		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	1.00	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	-	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	